



現在、高齢者福祉政策の議論の焦点は、「財源問題」と「事業生産性」に置かれ、財源では利用者の負担増と、自治体やボランティアへの制度移行が検討され、事業生産性ではロボットやAIを活用した「エビデンスのある介護」が強調されています。

つまり、制度の持続可能性を自己負担とサービス抑制で乗り切ろうとしていてこの点について私は大変憂慮しています。

そもそも、福祉施策で求められているのは「人権の保障」であり、生産性はその支援の質の向上で考えていかなければなりません。地域住民の参加も社会的つながりを深めて地域の生活を豊かなものにするためです。

私は、貧困や加齢・障害などで社会生活に困難な状態になっても、その人らしく社会とつながりつつ安心して暮らしていける社会こそが理想であり必要だと思います。

社会福祉法はそのために「地域共生社会の実現」を掲げています。理想を建前にしてはいけません。少しでも理想に近づけるように、まったなしのこの問題。取り組みを一步でも進めるように地方から取り組んでいきます。

令和5年7月
小野寺 健



質問ダイジェスト (R5 予算審査等特別委員会 総括質疑)

●泉区の人口見通しについて

泉区の10年後、20年後、30年後の人口、世帯数を伺う。(小野寺)

【回答】 直近の令和5年3月1日現在で20万9,795人ですが、昨年公表した区別の将来人口推計において、10年後の2033年には約19万人5千人、20年後の2043年に約17万3千人、30年後の2053年には約15万人と推計しています。

なお、世帯数につきましては、将来的な推計は行っていないが、国勢調査における泉区の一般世帯数は2015年から2020年で、約3千世帯増加し、約9万3千世帯となっている一方、単身世帯は約4千世帯増えて約3万3千世帯となっていますことから、今後も単身世帯の割合が高まっていくものと考えています。(まちづくり政策局長)

●人口減少に対する泉区の対応について

急激に高齢化が進んでいる中、泉区の加茂団地では65歳以上が全体の6割に迫り、独居率も5割近い状況であるが、泉区としてどのような手だてを行なうのか、泉区長の所見を伺う。(小野寺)

【回答】 泉区としては、区役所の建替えと併せて、泉中央地区の賑わい創出を図り、特に若者が集まるまちとするとともに、区役所業務のDX化を推し進め、来庁者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図ります。

また、郊外の住宅団地においては、都市整備局と連携し、本市の補助制度である「仙台市若年・子育て世帯住み替え支援」の活用などにより、そうした世帯の居住を促進し、コミュニティの維持に繋げていきます。

このような取り組みを通じ、生活の利便性と自然が調和し、住みやすいまちとして、泉区が選ばれ、安心して暮らしていただけるように、今後とも努力してまいります。(泉区長)

●少子化・子育て対策としての経済対策について

少子化・子育て対策については若者に目配りした経済対策・支援が必要だ。

つまるところ究極的には経済対策を何とかしなければならない。仙台市においてもこの視点を持ち、次年度以降施策展開を行っていただきたい。担当副市長に答弁を求める。(小野寺)

【回答】 少子化対策のためには、子育てや教育にかかる経済負担の軽減に加え、若者世代の雇用や所得の確保といった、経済的に将来展望が見通すことができ、生活基盤の安定に資する取り組みも必要なものと認識しています。

本市としては、子ども・子育て施策の拡充に加え、成長産業の育成や地元中小企業の成長支援のほか、スタートアップ支援や研究開発拠点の誘致の充実などに取り組むこととしています。

これらの経済施策を通じ、若者の選択肢を増やすとともに、所得の確保にもつなげ、若者にとって魅力を感じるまちづくりを進めてまいります。(藤本副市長)

おの でら 健 プロフィール

昭和47年3月29日 仙台市生まれ AB型。51歳。

学 歴

泉市立加茂小学校 卒業(5期生)、泉市立加茂中学校 卒業(6期生)
仙台高等学校 卒業(42期生)、大阪芸術大学 芸術学部 卒業(学士)
宮城大学大学院事業構想学研究科 修了(修士)
東北大学大学院工学研究科博士後期課程 退学

家 族 構 成

母(主婦)・妹(会社員)(加茂地区在住)
妻(公務員)・長女(宮城教育大学附属中)・長男(聖ドミニコ学院小)(紫山地区在住)

職 歴

株式会社藤崎に入社し社会人生活をスタート。
会社役員、専門学校講師、NPO法人理事を経て
平成19年4月仙台市議会議員初当選。
平成23年8月仙台市議会議員再選(2期目)。
平成27年8月仙台市議会議員再選(3期目)。
令和元年8月仙台市議会議員選挙再選(4期目)。

おむすびシート

～市民のみなさまの思いをむすぶおむすびシート～

市民のみなさまの声を!! お気軽にFAXください



FAX 022-702-3967

●生活している上でおこまりのことありませんか。(具体的に書いていただけると助かります)

●市議会について伺います ※いずれかに○をつけてください

- | | | | |
|---|--------|---|--------|
| 1. 市議会に関心がありますか | YES NO | 8. 市議会だよりを読んでいますか | YES NO |
| 2. 現在の市議会をどの様に評価しますか
評価する 評価しない わからない | | 9. 市議会だより以外で議会に関する
情報収集をしていますか | YES NO |
| 3. 市議会議員に自分の意見や要望を伝えていますか | YES NO | 10. 市議会ではどのような改革が必要だと思えますか
・議会の審査機能の向上 ・議員定数の削減
・報酬・政務活動費の見直し ・市民が傍聴しやすい議会
・市民の声支映できる懇親会や意識調査を行う
・市議会ホームページの充実など ・情報発信力の強化
・新聞広告や議員だよりの発行回数をふやす ・その他 | |
| 4. あなたの意見や市民の声が市議会に
反映されていると思えますか | YES NO | 11. 市議会に何を期待しますか。自由にお書きください
{ } | |
| 5. 市政等について意見や要望がある場合に
請願や陳情を市議会に提出できることをしていますか | YES NO | | |
| 6. 市議会の会議を傍聴したことがありますか | YES NO | | |
| 7. 市議会を夜間や休日に開催すれば傍聴しますか | YES NO | | |

お名前

TEL
FAX
MAIL

ご住所

市民フォーラム仙台 加茂事務所

至長命ヶ丘
マツモトキヨシ様●
北環状線
みおくり邸宅●
加茂様

●加茂郵便局様

●ラーメン店様

至八乙女

【事務所連絡先】

〒981-3122

仙台市泉区加茂1-47-2-2F

FAX 022-702-3967

E-mail: onoken0329@yahoo.co.jp

オフィス加茂 [2F]

